

## 第1回 徳島市阿波おどり運営協議会会議 議事録

開催日時 平成30年4月25日(水) 15:00～

開催場所 徳島市中央公民館 3階 会議室

出席者 委員24人(内代理3人)、事務局7人

### 1 開会

### 2 市長挨拶

### 3 委員紹介

### 4 議題(1)徳島市阿波おどり開催のための組織体制について

#### 【事務局】

阿波おどり開催に向けての組織体制及び徳島市阿波おどり運営協議会会則(案)について説明

徳島市阿波おどり運営協議会会則(案)について説明について

### 5 会長・副会長の選出

会長に須藤委員、副会長に玉委員を選出

### 6 議題(2)平成30年阿波おどり事業計画について

#### 【事務局】

資料2平成30年徳島市阿波おどり事業計画について説明

#### 【A委員】

今回、運営協議会には阿波おどり振興協会(以下「振興協会」という。)が入っていないが、連として選抜阿波おどりには協力してくれるのか。

#### 【事務局】

振興協会は、これまでの実行委員会を手伝っていたということで、今回、市が提案している運営協議会に参加すると全国の阿波おどりファンの皆様に誤解や混乱を招く恐れがあるからということで、今回の運営協議会の参画について保留しているとの説明をうけている。

ただ、振興協会、徳島県阿波踊り協会(以下「県協会」という。)については、阿波

おどりにとって必要な連である。それは運営とは別のところでしっかり参画をお願いしている。

**【B委員】**

にわか連の編成のところ、集合場所が元町演舞場になっているが、そこにあれだけの人数が集まって大丈夫か。

**【事務局】**

平成24年以前の演舞場の形に戻そうと考えている。新町の演舞場、両国の演舞場のような栈敷を置くイメージをしてもらいたい。東側に栈敷を組み、西側に通路を確保しておく。西側ににわか連の方は集まっていただき、練習してもらえるように考えている。

**【B委員】**

両側には演舞場を作らないということか。

**【事務局】**

今は片側で考えている。平成24年度の際は東新町の出口が、にわか連の集合場所になっていたと思う。集合場所として、東新町の出口か元町の分断する形がよいのかは、踊り手の意見も伺いながら調整していきたい。

**【B委員】**

阿波おどりの踊り連の受付にて優先連と書いているが、有名連の線引きをはっきりしていただきたい。有名連とは、県協会と振興協会あと徳島県阿波おどり保存協会（以下「保存協会」という。）と思っていたが、それ以外の連でも、自分達は有名連と言う人が来る。またそこでいざこざが起こってくる。

**【事務局】**

県協会、振興協会、保存協会も当然連に属している方は有名連ということだと思っている。また企業連の中のタレント連なども事前に確認をして、連の貼り付けも考えていきたい。

徳島市の職員を演舞場ごとに配置することも考えており、運営を上手く回していきたい。有名連の線引きも相談させていただきたいと思っている。

**【C委員】**

旅行代理店等チケット販売について聞きたい。もうすでにチケットの問い合わせが旅館やホテルにある。販売も始まっているが、今年は阿波おどりが無いということで、キャンセルという話を何件か聞いている。従来であれば、6月1日から団体販売になっていたの、タイムスケジュールや問い合わせ先を聞きたい。

**【事務局】**

実行委員会が終わればチケット販売業者を早急に決定したいと思っている。例年は実績のある大手旅行会社については、事前に何席分か確保できるようにしている。6月上旬に間に合うように作業を進めている。実行委員会ですら予算等が承認されれば例年通

りのスケジュールにのる流れで動いている。

**【C委員】**

具体的に販売はどうなるのか。

**【事務局】**

例年通りの方法で販売業者を決め、インターネット販売やコンビニ販売を考えている。日程については、6月1日からの先行予約の開始に間に合うように作業を進めていきたいと考えている。

**【C委員】**

まとめて、30席、50席という単位で対応することは可能か。

**【事務局】**

そのように考えている。

**【D委員】**

一部はだいたい入っているが、二部は空席がすごく多い。特に市役所前の二部はS席で入っているぐらいであとの席はほとんど入ってない。今年は間に合わなくても来年はもっと下げる必要があるのではないか。検討の余地はないのか。

**【事務局】**

二部については観光客が帰っていく時間でもあるため、踊り連と協力しながら地道に魅力をあげていきたい。料金については、今年の全体の収支の話もあるので対応が難しい。見物人を多く受け入れるような体制を検討していきたい。

**【A委員】**

我々は徳島が阿波おどり発祥の地、本場と思っている。しかし、今後、このような状態が続いたらどこが本場と名乗ってもおかしくない。阿波おどりはすごく広がっているが、徳島＝阿波おどりと言う認識はそんなに広がってない。阿波おどり＝徳島市という形で展開していくためには、例えば、コインパーキングの阿波おどり特別料金的なものがはびこりすぎているので、この辺りも含めて市民、県民、各業界あげて盛り上げていくことを考えていければ、観光客も増えていくと思う。いかに良い時間を徳島市の阿波おどりで楽しんでもらえるかが大事。この際、改めてそういうことを含めて考えていただきたい。

**【事務局】**

阿波おどりの特別料金的なものが発生しておるのは事実である。それが業界団体ごとの問題もあるかと思うが、できる限り観光客におもてなしの心で、来ていただけるような取り組みをしていただけるよう働きかけていきたい。

**【E委員】**

7月1日のチケット販売までのスケジュールを考えれば昨年と比べてまったく遜色はないのか。少し遅いのではないか。

**【事務局】**

スケジュール感でいえば例年通り進んでいる。ただ、今までであればこのスケジュールにいたるまでの前段階の事務作業が進んでいたと思う。若干遅れていると思っ  
ているが、資料2のスケジュールにおいては、おおむね例年通りと求めていただきたい。

**【F委員】**

徳島市阿波おどりというネーミングは外から見た時にちょっと堅いと思う。ただネー  
ミングを広げるという意味では、徳島阿波おどりとシンプルにする方がいいのではない  
か。外から見た時に徳島を主張するのであれば、かたい文章にはしないほうが県外の人  
には響くと思う。

**【A委員】**

一番良いネーミングは阿波おどりだと思う。「阿波おどりとと言えば徳島だ」という風な  
イメージが大事で、例えば、ゴルフでいうと全英オープンがジ・オープンと言い、全英  
とは言わない。しっかり考えていただいたうえで、ネーミングしていただきたい。

**【事務局】**

明日の実行委員会でしっかり意見を伝えて審議いただく。

**【G委員】**

栈敷の見通しは。

**【事務局】**

栈敷については、今は破産管財人が所持している。市の立場では当然栈敷がないと阿  
波おどりができないことは間違いないので、社会的有用性を破産管財人に丁寧に説明し  
ながらこの阿波おどりで活用できるように進めているところ。

**【H委員】**

伝統と歴史のある阿波おどりだが、若者の関心が薄いように思う。大学などで阿波お  
どりの価値等を伝えていきたいと思う。3年前からボランティアを学生に勧めている。  
阿波おどりの運営においても学生がボランティアで参画するようになってきている。少しづ  
つ人数が増え、100名程度になっているが、そういう若い人が参画すると同時に、世  
界に誇る阿波おどりを発信する場合に、若い学生等の感覚での発信も必要であり若い力  
をどうやって阿波おどりの運営に引き込むかということも必要ではないかと思う。

**【事務局】**

学生のアイデア力は、確かに高いのは間違いないと思う。市では実行委員会の終わっ  
たあとに、ホームページを立ち上げるように考えている。画面展開などについて学生の  
知恵を借りたいと考えている。

**【C委員】**

本年度は例年通りではなく、例年の数十倍マイナスイメージでのスタート。今年度に関  
しては、大胆に支出をしていくべきところは支出をしないといけない。特にホームペ  
ージは中途半端なものを作成すると、誰も見てもらえないホームページができてしまう。  
今年度は早くスピード感をもってコマーシャルをしていかないと全国に情報発信できな

い。収入についても、入場料収入でほぼほぼ100パーセントということになっているが、この状態だと去年度ほど客は来てくれない。1割ないし2割マイナス減ということも考えなければならない。全国の情報発信でコマーシャルに関しては、大胆な予算割をしていかなければならない。またスピード感をもっていかないと、全国に情報発信するというのは難しい。情報発信をどれだけの規模でしていくか、もっと中身をつめていかなければならないと思う。赤字を恐れていると、屋外のイベントができないので、先行して広告予算等を取っていかなければならないと思う。

#### 【事務局】

今の段階ではまだ詳細が詰めれてないところもある。実行委員会や運営協議会でこれだけの人数が集まっているので、情報発信の仕方等について知恵を借りながら取り組んでいけたらと考えている。また、ホームページやこれから説明するポスターの配布方法についても協力してもらいたい。

#### 【I委員】

徳島市観光協会が即時抗告をしているが、もしも認められた場合に、積み上げてきたものはどうなるのか。市の方でプランBは考えているのか。

#### 【事務局】

3月29日に徳島市観光協会の破産手続き開始が決定し、現在は、徳島市観光協会から即時抗告がなされているが、法律上は破産手続きが粛々と進んでいる状況である。今日、明日と新たな組織を立ち上げ、この夏の阿波おどりの実施に向けて皆様と手を携えてしっかりと進めていこうと考えている。プランBがあるのかという仮定の話にはお答えができない。即時抗告はなされたが、本市の主張が認められるものと考えている。

#### 【事務局】

先程意見があった名称について、徳島阿波おどりという発言だったと思うが、ひらがなで「とくしま」か、漢字で「徳島」か。

#### 【F委員】

やわからかさを出すのであればひらがなの方がいいと思う。

#### 【事務局】

事業計画を立てる上で、事務局サイドでかなり考えたところである。事務局でも、今までは本場の阿波おどりなので、わざわざ徳島市を表記する必要もないのではないかと、という意見もある。ただ、そうは言いながらポスターには表記がないので徳島がなかなか分からない。ポスターは全国の主要な駅や旅館に配り、掲示していただいている。何らか表示があったほうが良いのではないかと、という思いも一方である。

#### 【A委員】

阿波おどり発祥の地が徳島であるのであれば、阿波おどりでいいのではないかと。全国から阿波おどりを踊っている人は、「この4日間は徳島に集合しなさいよ」ぐらいの情報発信をした上で、認知度を増していくという努力をしないと、なにか弱腰ではないかと。

**【E委員】**

やはり阿波は徳島なので、わざわざ徳島市をつけなくてもいいのではないかと。

**7 議題(3)平成30年度阿波おどりポスターの事業計画について**

**【事務局】**

阿波おどりポスター作成スケジュール及びキャッチフレーズ募集要項について説明

**【E委員】**

ポスターを作成するのであれば、1日でも早く作成していただきたい。

**8 議題(4)今後の開催について**

**【事務局】**

今後の開催予定について説明

**【C委員】**

今年度で言えば頻度を高め、月1回でも会を開いたらいいのではないかと。今年度については、スケジュール的に非常にタイトなので、いろんな意味で事務局にお願いするということがある。たちまち来年のことを見据えていかなければならないと思う。いつも毎年1月や2月に実行委員会を開いて今年の反省をしているが、旅行会社は1月2月に次年度の仕入れをしているので、反省点を踏まえて改良するのであれば、1月中旬の実行委員会で次年度の計画をある程度決めていくような形をとってもらいたい。特に今年度はある程度反省材料を踏まえた上で、1月に年度計画、価格、料金設定についても決めてもらいたい。早い段階で今年の8月にやりますという告知ができればと思う。

**【事務局】**

1月の中旬までに、来年の31年度の予算を考えていく必要があると思う。現に、徳島市には旅行会社等からの問い合わせが多数寄せられている。原因は情報発信が不足していると思われるので、事業計画については説明できるよう進めていきたいと思う。

**【会長】**

以上をもちまして、第1回徳島市阿波おどり運営協議会を終了いたします。